

「平成27年度県行政に関する要望事項」

団体名 (一社) 静岡県商工会議所連合会

件 名 ・ 要 旨	施 策 へ の 反 映 見 込 み / 措 置 状 況 等
<p>(件 名) 継続 文化・観光部(04) 県道静岡空港線沿いへの桜の植樹による富士山静岡空港周辺地域における景観整備と魅力向上の早期実現</p> <p>(要 旨) 県では、「空港ティーガーデンシティ構想」に基づき、平成23年度に、富士山静岡空港交差点から空港ターミナルビルまでの県道静岡空港線沿い(法面)に桜を植樹するとともに、空港入口島田交差点から富士山静岡空港交差点までの桜の植樹による景観整備についても、実施に向けた課題等を含めて検討を継続したいとしている。また、今年度、旅客ターミナルビル増改築計画(平成26年度～平成29年度)に合わせた景観形成基本計画を作成するとも聞いている。 こうした取組について地元と十分に協議を行った上で、県道静岡空港線(空港入口島田交差点から富士山静岡空港交差点までの区間)沿いへの桜の植樹による空港周辺地域の景観整備と魅力向上の早期実現について、引き続き要望する。</p>	<p>これまで県では、空港周囲部の景観形成を図るため、平成23年度に東側展望広場の整備及び県道静岡空港線法面への桜の植樹、平成24年度には石雲院展望デッキ周辺への植栽(県内産の桜を含む)などを行ってきた。</p> <p>今後とも、「空港ティーガーデンシティ構想」の実現に加え、空港の魅力やおもてなし機能を向上させるために、旅客ターミナルビルの改修・増築とともに空港周囲部の計画的な景観形成が必要であると認識しており、平成26年度は、取組の基本となる空港アクセス道路景観計画を策定中である。</p> <p>県道静岡空港線(空港入口島田交差点から富士山静岡空港交差点までの区間)沿いについても、当該計画の中で適切な景観整備のあり方を検討し、地元の御要望である桜の植樹を含めて必要な対応を図っていきたいと考えている。</p>

担当課 : 空港運営課 (TEL : 3228)

「平成27年度県行政に関する要望事項」

団体名 (一社) 静岡県商工会議所連合会

件 名 ・ 要 旨	施 策 へ の 反 映 見 込 み / 措 置 状 況 等
<p>(件 名) 継続 経済産業部 (10) 中小企業倒産防止共済制度の改正による「共済金の災害時貸付請求」の新設、若しくは、自然災害による倒産防止に対応出来る新たな共済制度の創設</p> <p>(要 旨) 中小企業倒産防止共済制度において、自然災害による道路等の社会インフラの寸断、風評被害、新型インフルエンザ等に起因する商取引以外の事由も共済事由とする制度となるように「共済金の災害時貸付請求」の新設、または自然災害による倒産防止に対応出来る新たな共済制度の創設について、(独) 中小企業基盤整備機構に対して働きかけを要望する。</p>	<p>県では、小規模事業者をはじめとする幅広い事業者の本共済制度を活用していただくことにより、多くの事業者が取引先の倒産をはじめとする万一の事態に備えていただきたいと考えている。</p> <p>一方で、共済事由の拡大に伴う共済金の貸付の増加は、事業者が負担する共済掛金等とも密接な関係があるため、共済事由の拡大によるメリットと、共済掛金の増額等のデメリットを十分に考慮した上で働きかけを検討していきたい。</p> <p>なお、県には、制度融資の一種として、広く売上減少のリスクに対応できる経済変動対策貸付の制度がある。本制度では、最近3か月間の売上高が前年同期比で10%以上減少した等の中小企業者や組合は、年率1.5%で最大5,000万円まで融資を受けることができるため、これらの制度の活用も考えていただきたい。また、このほかに自然災害等が発生した場合に、必要に応じて適用する中小企業災害対策資金制度を準備している。</p>

担当課 : 経営支援課

(TEL : 2806)

「平成27年度県行政に関する要望事項」

団体名 (一社) 静岡県商工会議所連合会

件名・要旨	施策への反映見込み／措置状況等
<p>(件名) 継続 交通基盤部 (18) 地域高規格道路「金谷御前崎連絡道路」(金谷相良道路Ⅱ期工区)の早期整備と供用</p> <p>(要旨) 志太榛原・中東遠地域における「陸・海・空」の広域交通ネットワークを早期に形成するため、金谷相良道路Ⅱ期工区の早期整備と供用を要望する。</p>	<p>全体延長約 30km のうち、倉沢インターチェンジから牧之原市地頭方インターチェンジまでの間の約 22km については、平成 22 年度までに供用している。</p> <p>未整備区間のうち、国道 1 号菊川インターチェンジから倉沢インターチェンジまでの間の約 3 km については、平成 23 年度から事業着手し、これまでに調査設計や用地買収を進めており、一部工事着手した。</p> <p>平成 27 年度からは工事を本格化させていく予定である。</p> <p>また、国道 1 号島田金谷 B P 区間の約 4 km については、平成 24 年度に 4 車線化および菊川インターチェンジのフルインターチェンジ化が事業化されたことから、県整備区間の完成に合わせた整備を、国に対して引き続き働きかけていく。</p> <p>国道 473 号の新東名高速道路島田金谷インターチェンジから国道 1 号大代インターチェンジまでの間の 4 車線化については、平成 26 年度新規事業着手し、調査設計や地元調整を進めており、平成 27 年度についても引き続き地元調整や関係機関との協議を進めていく予定である。</p>

担当課 : 道路整備課国道班 (TEL : 3011)

「平成27年度県行政に関する要望事項」

団体名 (一社) 静岡県商工会議所連合会

件名・要旨	施策への反映見込み／措置状況等
<p>(件名) 継続 交通基盤部 (19) 国道1号バイパス (島田金谷バイパス) の4車線化の工事スケジュールの明確化及び早期供用等</p> <p>(要旨) 国道1号バイパス (島田金谷バイパス) の4車線化の工事スケジュールの明確化及び早期供用並びに東光寺IC周辺 (藤枝バイパス区間) の4車線化について、国への働きかけを要望する。</p>	<p>国道1号島田金谷バイパスの4車線化は、平成24年度に新規事業化され、今年度は用地買収、大井川を渡河する橋梁工事等に着手された。</p> <p>現在、県が進めている、地域高規格道路「金谷御前崎連絡道路」の空港入口から国道1号菊川IC間の整備に加え、島田金谷バイパスの4車線化、菊川ICのフル化が完成すれば、富士山静岡空港や御前崎港等との連絡が強化され、旅客や物流の拡大、地域振興に大きな効果が見込まれることから、国に対し、島田金谷バイパスの事業推進、早期完成を働き掛けていく。</p> <p>なお、国土交通省では、暫定2車線で整備されている県内の国道1号バイパスについて、交通状況を見ながら順次4車線化を進めている。</p> <p>現在は、島田金谷バイパスのほか、静清バイパス、袋井バイパスにおいて整備が進められており、このうち、袋井バイパスについては、平成25年3月の堀越IC～三ヶ野IC間 (L=2.5km) の完成に続き、平成27年度には国本IC～堀越IC間 (L=2.5km) が完成予定となっている。</p> <p>東光寺IC周辺を含む藤枝バイパスなど、残りの2車線区間の4車線化については、事業中区間の整備が完了後、引き続き事業着手されるよう、国に対して働き掛けていく。</p>

担当課 : 道路企画課高速道路班 (TEL : 2938)

「平成27年度県行政に関する要望事項」

団体名 (一社) 静岡県商工会議所連合会

件名・要旨	施策への反映見込み／措置状況等
<p>(件名)継続 交通基盤部(21) 周辺地域の活性化を踏まえた東海道新幹線「富士山静岡空港駅」(新駅)の設置推進(島田)</p> <p>(要旨) 平成22年位策定された空港ティーガーデンシティ構想では、第1高尾山トンネルと第2高尾山トンネルの間への新駅設置案が示されている。しかし、この場所に新駅が設置されても、空港利用者にとって利便性が高い施設となっても空港周辺に地域への波及効果はそれほど期待できない。空港周辺地域の活性化にも貢献する場所に設置するのが最善策と考える。それを踏まえて新駅設置を推進されたい。</p>	<p>首都圏空港の一翼を担う富士山静岡空港のアクセス強化に寄与する新幹線新駅について、航空需要が増加する東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて供用されるよう、新駅実現に向けた取組を推進していく。</p> <p>その中で、新幹線新駅の設置個所については、県が検討している20年、30年後の地域の将来を見据えた魅力あるまちづくりビジョンとあわせて、今後、関係市町などに提示し、協議調整を図っていく。</p>

担当課 : 交通基盤部政策監 (TEL : 3533)

「平成27年度県行政に関する要望事項」

団体名 (一社) 静岡県商工会議所連合会

件 名 ・ 要 旨	施 策 へ の 反 映 見 込 み / 措 置 状 況 等
<p>(件 名) 新規 交通基盤部 (05) 一般道における交通事故・交通渋滞回避のための ETC 料金割引の廃止・縮小の見直し</p> <p>(要 旨) 一般道における交通事故・交通渋滞回避のための ETC 料金割引の廃止・縮小の見直しに係る国への働きかけを要望する。</p>	<p>高速道路の料金割引については、平成 25 年 6 月に、第三者委員会が発表した中間答申を受け、実施目的を明確にした上で、効果が高く重複や無駄のないように、また、生活対策、観光振興や物流対策などの観点を重視しつつ、高速道路の利用機会が多い車に配慮する形で、国が平成 26 年 4 月に再編を行ったところである。</p> <p>なお、国は激変緩和措置として、料金制度再編後も 1 年間に限って実施することとしていた、大口・多頻度割引の最大割引率拡充措置 (40%から 50%) を、現下の経済情勢等を踏まえ、物流コストの低減等に資する取組を推進するため、平成 28 年 3 月末まで、更に 1 年間延長することを決定した。</p> <p>引き続き、第三者委員会においては、高速道路ネットワークの効果的・効率的な利用に向けて、高速道路を中心とした「道路を賢く使う取組」が重要とし、議論を進めている。この中では、高速道路の分担率を上げることで、死傷者、消費燃料、渋滞の減少が期待できることから、利用促進に向けた取組が重要として、様々な施策が検討されており、県としては、今後も第三者委員会の議論の動向、国の対応を注視していく。</p>

担当課 : 道路企画課高速道路班 (TEL : 2938)

「平成26年度県行政に関する要望事項」

団体名 (一社) 静岡県商工会議所連合会

件 名 ・ 要 旨	施 策 へ の 反 映 見 込 み / 措 置 状 況 等
<p>(件 名) 継続 文化・観光部(03) 富士山静岡空港の路線拡大及びダイヤと便数の改善並びに県外・国外から本県への誘客促進策の実施</p> <p>(要 旨) 国内・国際定期便就航路線拡大及び利便性の高い就航時間と便数の確保並びに県外・国外から本県への誘客促進策の実施</p>	<p><前回答と同じ> 世界遺産富士山を始め、伊豆ジオパーク、浜名湖の自然、温泉、食、徳川家康公顕彰400年等の歴史・文化など、多彩で豊富な観光魅力を活用して、札幌、福岡などの就航先及び首都圏、中京圏を中心とした国内市場や、中国、韓国、台湾等の東アジアの主要市場に対して、メディアを活用したPR活動や、旅行会社を招聘した視察旅行などを実施することにより、観光誘客を図っていくとともに、タイ、マレーシア等東南アジアの有望市場の開拓にも取り組んでいく。</p>

担当課 : 観光振興課 (TEL : 2583)

「平成27年度県行政に関する要望事項」

団体名 (一社) 静岡県商工会議所連合会

件 名 ・ 要 旨	施 策 へ の 反 映 見 込 み / 措 置 状 況 等
<p>(件 名) 継続 文化・観光部(03) 富士山静岡空港の路線拡大及びダイヤと便数の改善並びに県外・国外から本県への誘客促進策の実施</p> <p>(要 旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の様々な施策により台北線が新規開設されたが、路線数は減少している。国内ハブ空港と結ぶ新規路線開設や県民の使い勝手の良いダイヤ・便数の改善に向けた航空会社への働き掛けとともに、運用時間の拡大を進めてほしい。 	<p>航空会社に対する新規路線開設や増便、ダイヤ改善等の働きかけは、あらゆる機会を捉えて実施している。その際に重要なことは、既存の路線、便数において十分な利用実績をあげること、具体的な需要見込みを示し、適切な支援を実施することである。</p> <p>このため、旅行商品の広告支援や販売支援等を通じて既存路線の利用拡大による実績向上を図るとともに、チャーター便の積み上げによる需要開拓等によってプログラムチャーター便の運航や定期路線開設に向け、航空会社に対して富士山静岡空港の潜在的需要の大きさを訴えていく。</p> <p>また、運用時間の延長については、県民が使い勝手の良いダイヤ実現する大きな要素であり、地元の皆様の御理解を得るべく、引き続き全力で取り組むとともに、関係機関と調整の上、平成27年度のできるだけ早い時期での実現を図っていきたい。</p>

担当課 : 空港利用促進課 (TEL : 3635)

「平成27年度県行政に関する要望事項」

団体名 (一社) 静岡県商工会議所連合会

件 名 ・ 要 旨	施 策 へ の 反 映 見 込 み / 措 置 状 況 等
<p>(件 名) 継続 交通基盤部 (20) 県道河原大井川港線(谷口橋以東・島田球場付近)の道路整備</p> <p>(要 旨) 現状の道路構造のままでは、交通量に見合った道路機能が不十分であり、交通の安全性が危惧されるため、拡幅を要望する。</p>	<p>島田市細島地内においては、平成25年度にカーブ区間の道路拡幅を実施している。 その他の区間については、今後の交通状況を見ながら、整備の緊急性を勘案して検討する。</p>

担当課 : 道路整備課県市町道班(TEL : 3017)